芦高新聞

発行所
蘆屋市宮川町
兵庫県立
蘆屋高等學校出版部

橋本歯科
茶屋之町蘆屋會館前
電話 蘆屋 三三九三

執行部原案各部門通過
今年度予算成立　総額一七九萬円
おとなしかつた予算会議

蘆高自治會に於て、自治會員の最大の関心の的であり、又執行部の重大な任務の一つである豫算編成は、執行部の努力によって、書記、文化、運動の三部門とも執行部の原案を可決、極めて紳士的な幹事會に終始したが、こゝに本年度豫算成立の経過を記す。

今年度豫算案は、新學年度開始と同時に作成される例年の例を破って三月十五日同窓會役員との懇親會の後、第一回執行部豫算會議が行れた。最初に會長より豫算額を毎年千四百人分で計上しているのを千四百五十人分として六萬円の豫算増額が提案され、全員賛成で可決された。その後本年度豫算割當決定方法について討議し、三大ブロック及び細分も顧問と執行部の話合いの上、原案を決定し、幹事會及代議員會の承認を求める事とした。なおこの日は各委員より新豫算決定に際して色々と意見の発表があり、これを参考にして、次の豫算會議に各部長案を作成する事にして散會した。第二回豫算會議は三月二十三日行れたが、この日會長より三大ブロック案が提案されたが、各部の暫定的な豫算額をまず決定しないと三大別の基準が出来ないとの声が强く、まず各部の暫定的な豫算案が各部長から発表されたが上田會計からの前年度の各部會計面の報告を参考に大修正した結果、運動部は會長案どうりの七十一萬円と奇しくも一致したが文化部は三十四萬千円とはみ出し長田文化部長から書記局六十九萬円より一萬円を文化部にまわす案が出され賛否両論はげしく論争したが、結局上田執行委員等の力説により文化部重点主義豫算案が可決され、書記局六十八萬円、運動部七十一萬円、文化部三十五萬円が三月二十四日幹事會にかけられ服部君（拳闘）から運動部は前年より増額していながら運動部が一番苦しいんだから増やしてくれとの意見があり送球部、ソフトボール部の解体により実質的には文化部と同様三萬円の増額である事が説明され、一応けりがついたかの様に見られたが、森本君（バレー）から文化部では書籍代が多額をしめているがその本は一体誰が持っているのか？結局は幹事の私有になるんだ、又図書館に本は幾らでも有るんだから文化部を削れと激しく文化部を攻撃したがE・S・S、数研等からそんな事はない今の失言を取り消せ、実例があるなら示してくれとの反論に対し、文芸部数研がやり玉に上げられたが数研幹事の欠席で話にならず長田文化部長から今の失言について文化部全体に謝罪せよとの要求があったが反省を促すという事にして失言問題もけり、結局満場一致で原案通り可決された。三大ブロック決定後は各部申請を参考に各部長、書記長が前の暫定的な豫算案を一部修正して執行委員會にかけ熊谷、伊東両先生出席の上慎重に審議の後原案を決定した。この原案は十日文化部、書記局幹事會にかけられE・S・S、数研等から各部の苦しい事情が訴えられたが文化部では賛成十、反対九で可決され書記局では図書部の激しい反対があったが賛成三、反対一で可決された。都合によりこれらより三日遅れて運動部豫算會議は議長土方運動部長、各部幹事他一名顧問により開かれた。議事進行に関して少々あいまいな点もあったがこれは各部幹事の不啓発な所も手伝つた。僅かにバレー部、軟野部から苦情が出たにすぎず硬野部の十四萬円は終始攻撃の的であった議長、顧問からの意見をまとめるのに額に汗、たまりかねた近藤會長、飛び出して議長をやりだしたが依然として幹事からの声は二、三人だけ、たまりかねた大松先生「私は今まで他校で豫算會議に出席しましたが今の様なおとなしい豫算會議は初めてだ、これは今の執行部のやり方が悪い豫算額だけ並べられた所で他の部の事情はわからない、だから意見をのべたくてものべようがない……」と執行部に対してきびしい批判の言葉を浴びせられた。が結局賛成十一、反対五により原案通り可決された。さてこれらを十四日の代議員會において代議員選出後審議した。初めに近藤會長より豫算作成の過程を説明し続いて外局、文化部、運動部の順に荒木書記長、長田文化部長、土方運動部長より説明がありその後質問に入った。まず日下君より図書部が減った理由がたづねられ、それに対して執行部から答弁があったが意見が合わずしばし争論となったがしかし議長の手際よい進め方により図書部もようやくあきらめた。その間、硬野、美化の昨年度の使い方がたづねられ二三の珍奇な質問も飛び出すうち満場一致をもって可決された。これを翌十五日の生徒大會の承認を得て本年度の豫算額が決定したのである。最後に方法として感心しない点もあったと思うが、各部配分に関しては冷静なる判断と数多くの資料調査の上、原案作成をした、執行部の努力は認めて良いと思う。

新入生諸君
矜持をもって自重せよ
飯野三峯

五百有餘の新入生諸君、諸君は七百に近い志願者中から選ばれた新鋭ぞろいである。われらは、心から諸君を歓迎すると共に、諸君の自重奮起を祈るや切なるものがある。わが蘆高は、學業に、運動に、今や天下の名門としての名声を確保している。昨夏、わが野球部が、全国優勝の偉業を達成して、満天下ファンの激賞をかち得たことは、諸君の知るところであるが、その他の運動部も、それ〲立派な業績をあげて、意気軒昂たるものがある。青年は意気の子である。純真にして熱情の結集するところ、學業にも必ずこの熱意が反映して、優秀な成果を結ばずには居らない。これが蘆高の信条である。だから本校は決して運動のみを奨励しているのではない。むしろより以上學業に重点を置いて居る。たゞスポーツによって感受性强き青少年をして現社會の邪悪に汚染せしめず、一路清純な感激の醍醐味を味得させつゝ、そこから溌剌たる意気をもりあげて、學業に邁進させようとの配慮から出て居るのである。スポーツこそこれを行う者、観る者ともに人間錬成上、最も端的にして明快な修業道と考え、これをより所として、より高次のものをねらっているのである。

新入生諸君、諸君の學ぶ學園はかくの如き名声に抱かれつゝ、新興の意気をもって、溌剌と活躍しているのである諸君は宜しく蘆高生たるの矜持を以て、自重すべきである矜持とは単なる「ほこり」でもなく、自惚れでもない。それは自らの価値を自覚することによって、おのずから湧きあがる自重感である。

この矜持を堅持して行動する限り、諸君の前途は燦として洋々たるものがある。

諸君は選ばれて本校に入學した者であり、この点については自信をもってよいが、趣味、性格については、それぞれ異る個性を持っている筈である運動に特技を発揮するもの、芸能に趣味を凝いつゝ静かに魂を温めるもの、科學の探究に沈潜して感激に浸るもの等いろ〱の型があると思うが若人特有の純情と感激性とは何れも共有していることゝ思う。どうか、この純情と感激とを、學園生活の内部に求めそこから三ケ年の蘆高生活を意義ある楽しいものとせられる様特に希望する。

論説

新入生に望む

新入生諸君を迎えて心から歓迎するが、ただ手ばなしで「いらっしゃいませ」と云つている訳にはいかない。

諸君は対面式の時、自治會長から挨拶が有り、あるいは自治會紹介等が有ったから蘆高自治會について、又諸君が蘆高生で有り、同時に蘆高自治會員で有る事を既に知っておられるはずである。しかし諸君が今まで學んで來た中學にも自治會と云うものが存在していたので自治會と云う名を聞いて、あゝあの自治會かと「中學の自治會」を連想されていると思う。

そこで諸君に望みたいのは中學の自治會と高校の自治會との間に大きな飛躍が有るのを自覚される事で有る。すなわち中學の自治會が指導されるもので有ったのに対し、高校の自治會が生徒の自主性に基く自発的な行動機関で有る事を自覚して今までの依存性の強い中學生活から独立した一個人として行動する高校生の生活に一刻も早く切り換えて蘆高自治會員としての活溌な協力と活動を行われる事で有る。

蘆高自治會の機構を知られたら自治會活動への参加が二つの面で可能なのを諸君はすでに感ずいておられるだろう。

一つはホーム・ルームでの活動であり、今一つはクラブ活動で有る。前者は今まで伝達事項や先生の說教に終る事がしばしばで、やむをえない事情が有るとしてもその活動はふみにじられていたと云つても過言ではない。甚しきに至っては先生が独断で代議員その他のクラス役員を指名すると云う様なクラスが現三年生の中にも有るのが現状で有る。もちろん十人の先生が居られればそこに自治會活動に対する理解と協力も十通り出来る訳で必ずしも理想的にいくとはかぎらないが、その責任はむしろ生徒側に有る、と云うのは、クラブ活動が活溌なのに反してホーム・ルームでの活動が一般に不活溌で有った。この点二三年生も大いに反省すべきで有るが、特に新一年生が何事にもこだわらない気持で自由な活動をされる事を切望する。

次にクラブ活動で有るが総数四十一と云う多数の部が存在しその活躍の華やかにして活溌なのは諸君の御存知の通りである。

しかしその成果は先輩の苦しい汗の結晶で有る事に留意されたい。特に昨年硬式野球部が夏の大會で優勝したのは野球部諸君のみならず蘆高生全員の喜びで有るが、それは多年にわたる部員及先輩の非常な努力によってかちえられたもので「棚からボタ餅」式にふってきた幸運ではない。そう云う先輩の咲かせた花を実とし芽を出させるかどうかは諸君の双肩にかかっている大きな課題である。

だからクラブ活動は楽しいもので有り、楽しむもので有るけれども安易な気持で娯楽機関の如くに考えられてはならない。まだ創立以来日の浅い本校の自治會に正しい建設的な伝統を築き上げる一つの土台石としての使命を果してもらいたい。

ここで問題になるのは學習と自治會活動との両立である。諸君は既にこの問題について考えられているかあるいは先生、先輩等周囲の人々から色々と注告や意見を聞いて居られると思う。これは大きな問題でその結論は一般に両立しないと云われる。はたして両立しないだろうか？……実際完全な両立と云うものは特別に優れた才能の持主でない限り無理が有るのが現実である。しかしだからと云って自治會に無関心で有って良いだろうか、もし諸君の中に大學の入學試験に通る事が高校生としての最大の目的で有るからその邪魔になる自治會等に関心を持ちたくても持てない、と云う人が有るなら、その人の不幸に対して同情せざるを得ない、なぜなら高校に於て受け得る個性教育を全面的に放棄した事で有るから。

我々はたとえ先に両立しなかった例が有るとしても現実がそれを許さないと思われても「自治會活動と學習」は両立さすべきもので有り色々な条件が往々許るさない「にもかかわらず」両立させねばならない理想で有る事を自覚して、この理想達成の為に努力をおしまれない事を切望する

× × ×

対面式盛大に行わる

去る四月九日、自治會の手により対面式が挙行された。

この日は快晴で、さながら蘆高晴れとでもいった感じだった。式は午前八時半に始まり、先ず二・三年上級生は東向きに、新入生は西向きになって対面し、近藤自治會長の力強い新入生への激励のことばがあり、続いて新入生代表一年1組の釣治夫君の「この喜びを忘れず、蘆高生として立派にやって行きたい」という意味の宣誓のことばがあった。後、横田コンダクターの指揮で上級生による「春陽の……」の大合唱、真白な帽子の白線や、女子の胸に燦と輝く校章など、上級生のそれに比べ、どこかに純真さがひそんでいそうな新入生達は、この大合唱に、しばし感激していた。式は同九時終了。

新議長に
藤井君

本年度議長選挙は去る十四日（火）放課後、講堂において開かれた今年度第一回代議員會において行われた結果三Hの代議員、藤井均君が選出され十五日の生徒大會で就任挨拶を行った。

選挙はまず各候補の推薦演説から始まり、三年藤井君より三年喜志君、喜志君より三年藤井君の推薦があり、直ちに投票に移った。近藤、速水両君の手で即時開票の結果左の通り。

有権者数　四十七名
棄権　二票
投票総数　四十五票
藤井君　二十九票
喜志君　二十五票
無効　一票

二、三年
代議員決定

一年を除く二三年の代議員は過日各クラスにおいて次の通り選出された。

三年A、土居、天津、井本
B、服部、町田、五十川
C、浜田、藤井、黒田
D、永井、永田、中村
E、小木、加藤、亀岡
F、喜志、村上、池上
G、速水、谷、日下
H、藤井、三木、曽和（恵）
I、金井、高木、寺岡
J、一坂、北村、中村
二年A、河合、伴、亀井
B、藤井、鳥尾、浜渕
C、岡山、神保、山岸
D、神前、伊保、渡辺
E、中村、横井、田中
F、植田、植田（鶴）、是常
G、井筒、伊藤、木村
H、鈴木、森村、和田
I、佐々木、藤川、白井
J、小川、河崎、谷口

代議員會に対して神保先生は次の如く感想をもらされている。

「執行部と代議員會長との連絡をよくとり、代議員と選出クラスとの連絡を充分に取る必要がある、討議事項に対しては代議員は、はっきりした態度をとるべきである」

一九五三年度自治会各部予算並役員

收入豫算

會費	一七四〇・〇〇〇円	月額一〇〇円　一四五〇人分
入會費	五〇・〇〇〇円	（一人一〇〇円　五〇〇人分）
計	一七九〇・〇〇〇円	

支出豫算

書記局	三五〇・〇〇〇円	書記長 荒木 埠（三J）	
出版	二一〇・〇〇〇円	幹事 北村皓一（三J）	顧問 李谷先生
美化	六〇・〇〇〇円	寺田 貞利（三I）	中西 先生
放送	四〇・〇〇〇円	棚井 良彦（三H）	岩田 先生
図書	四〇・〇〇〇円	加藤 紳三（三J）	石田 先生
豫備費	五〇・〇〇〇円		
會計局	三三〇・〇〇〇円	〔記念祭費、事業費、体育祭参加費、慶弔費、消耗品費、事務通信費、雑費〕	
文化部	三五〇・〇〇〇円	部長 長田吉弘（三E）	理事 熊谷先生
生研	二〇・〇〇〇円	幹事 山野上融（三H）	顧問 土井先生
文芸	二〇・〇〇〇円	一坂 俊丸（三J）	井上 先生
弁論	二〇・〇〇〇円	大隅 孝二（二I）	熊谷 先生
音楽	三八・〇〇〇円	高木 行彦（三I）	出口 先生
社研	八・〇〇〇円	川瀬 周明（三C）	安田 先生
E・S・S	一三・〇〇〇円	高橋 栄策（三I）	千葉 先生
鐵研	二〇・〇〇〇円	志水 淳（三I）	津田 先生
科研	一七・〇〇〇円	横井 明（三F）	岩田 先生
美術	二七・〇〇〇円	小西 茂博（三A）	中西 先生
写真	一二・〇〇〇円	須田 敏弘（三I）	金崎 先生
演劇	三三・〇〇〇円	石本 次郎（二D）	山田幸 先生
映研	六・〇〇〇円	松井 寿（三G）	深井 先生
化研	二〇・〇〇〇円	東鬼 吉孝（三C）	島田 先生
数研	一四・〇〇〇円	曽和 常雄（三H）	多田 先生
食研	一一・〇〇〇円	有元貿美子（三E）	辻田 先生
被服	一二・〇〇〇円	佐々木照子（三F）	山本 先生
華道	一〇・〇〇〇円	藤本 芳子（三E）	佐藤 先生
茶道	一〇・〇〇〇円	西 寛子（三E）	曽谷 先生
書道	一〇・〇〇〇円	五十川一夫（三B）	野村 先生
天文	一四・〇〇〇円	上橋 巍（三G）	金崎 先生
B・D	九・〇〇〇円	井本 高子（三A）	水上 先生
史學	七・〇〇〇円	石井 成夫（三J）	前島 先生
運動部	七一〇・〇〇〇円	部長 土方久益（三I）	理事 伊東先生
硬野	一四〇・〇〇〇円	幹事 本屋敷錦造（三G）	顧問 伊東先生
軟野	六三・〇〇〇円	久次 悦次（三D）	碓井 先生
硬庭	三七・〇〇〇円	竹原 功（三F）	津田 先生
軟庭	三三・〇〇〇円	中田 正三（三G）	櫛橋 先生
ラグビー	八七・〇〇〇円	荒木 順蔵（三I）	忍那 先生
サッカー	七七・〇〇〇円	高尾 政伯（三F）	大松 先生
排球	四八・〇〇〇円	森本 一男（三J）	稲山 先生
籠球	三六・〇〇〇円	竹中 晋（三H）	奥田 先生
陸競	三一・〇〇〇円	浅野 耕一（三J）	井上 先生
水泳	二五・〇〇〇円	吉野 史記（三G）	永井 先生
山岳	三八・〇〇〇円	河本齊一郎（三H）	木田 先生
短艇	二五・〇〇〇円	大賀 修一（二B）	小松 先生
卓球	三二・〇〇〇円	岡田 正雄（三C）	松本 先生
拳闘	二〇・〇〇〇円	服部 立夫（三B）	杉山 先生
柔道	一八・〇〇〇円	武中 啓市（三J）	藤原 先生

嚢表独語

◆「こちらは花が咲とうが咲くまいが」と一茶は詠った。春ランマン、諸花乱れ咲く頃となったが、大學受験を目指す、三年生の諸君が今年の二の舞を再び繰り返さないでほしいものだ。

◆「春の海ひねもすのたりのたりかな」これは有名な蕪村の句である「時は春……」「春眠暁を覚えず」誠に眠い今日この頃の授業ではあるが二年生と云えども、安楽の夢をむさぼらないで……。

◆「暮たてゝ春の潮の流れけり」虚子の句である。新入生の諸君の胸には入學の喜びと将来の希望とに、青春の血潮が湧き上っていることであろう、何時までも、その進取の気象を忘れないことを願う

◆ドイツ人は考えてから歩き出し、イギリス人は歩きながら考え、フランス人は考えてから走り出すという。考えることは決して時間の浪費ではないはずです。

◆今度の選挙で自由党が再び第一党になった。政策に国民の信頼が寄せられたのではない。他党が頼りない故である。そう云えば日本人は保守的な国民だそうですね。

◆中間政党の改進、分自由党が落ち目になって来た。すべからく、中道は安全であるということは近頃の常識ではなくなった。

世界の動き

藤原松雄

題目だけは大きく出て見たが、此の様な時事解説は専門の先生に書いて貰った方がよいのであろうが専門的にむつかしく解説されるとかえって判り難くなる所から私の様な浅くて荒削りで分り易い解説を求めたものと推察して厚かましくも引受けた。

私の様な幅の狭い頭脳と拙劣な筆とでは総合的に全体的な立場より概觀し得べくもないので便宜上、主として（一）米国（新大統領アイク）の対外方針（二）スターリンの後継者マレンコフ及中共の対朝鮮休戦會談（三）国内総選挙と云う三者の連関している点から簡単な解説を試みよう。

読書することの少い私は必然的に、自己流の推理に基くの他はなく従って時日の経過と共に私の観方の誤謬が現われて来ればむしろ愛嬌として受取って貰いたい。

アイクの対外方針の骨子となるものは、米国の支払う犠牲を最小限にしつゝ共産勢力を圧迫することである。其の具体的の現われの一つが朝鮮休戦會談の再開受諾である。最近米軍の中に朝鮮派遣を嫌って逃亡する兵隊の多い事や朝鮮事変延長を嫌悪する米国内の声をしきりに耳にする彼は、一日も早く米兵を朝鮮より引揚げることを考へている其の為には、1朝鮮の休戦、2米兵に代へるに韓国兵を以ってすること、2中共軍を戦略的に退却せしめて、早期に事変を鎮化せしめること等が考えられる。1、3は説明を要しないとして3に就て少し詳説すると、アイクは大統領就任直後「台湾の中立解除」を声明したが、これは全く3を狙ったものである。即ちこれは台湾の中立を解除することに依って「中國國府軍が何時大陸反攻を行うやも知れぬぞ」と云う脅迫を中共に突き付けた一種の心理作戦であって、此の為中共は全兵力を朝鮮戦線に集中することが出来なくなり、大陸の南部の方にも兵力を分散せしめ、対国府軍防衛を考慮せねばならぬことになり、中共戦線に於ける中共の兵力を稀薄化弱体化せしめかくて米国は米兵の犠牲を僅少に止め得るのである。（その反面仏印、ビルマ、印度は中共軍が朝鮮戦線を退いて自己の領域に近付いて来ることの恐威にさらされるので、米国の此の声明に対しては快良く思はなかったのである）

今般の朝鮮休戦會談の再開に対して米国が賛意を寄せた理由は以上の如き「米国の犠牲を最小にしたい」と云う心情から出ているのである。

朝鮮休戦會談の再會に関連して、ソ連及び中共側の真意は何所にありやを推測するにソ連の方は明かに平和攻勢の一環として打ち出していることは疑う余地もない。中共は米国の台湾中立化声明と朝鮮に払いつゝある大なる犠牲とに鑑みて、朝鮮戦争の持続拡大を愚なりと考へ始めているに相違ないのである。私は今度の休戦會談は恐らく或る段階までは進展すると考へる。

由来スターリン・モロトフ両者が対外融和策を主張して来たのに対して、マレンコフは強硬策を主張して来ていたと噂されていたにも拘らず、マレンコフはいざ最高責任者となると、前二者と同様に対外融和策を採り始めたのは面白い事である。最近の話題となっているユダヤ系医師団の釈放、軍備縮少案同調等と相俟って一貫した平和攻勢なのである。

然し休戦會談と云っても、唯今の段階では捕虜交換問題に過ぎずこの問題の経過如何に依っては、休戦の他の問題にも触れて行かんとするものであろう。

然し最終的の見通しとして形の上で休戦が成立し朝鮮戦線が鳴りをひそめたにしても休戦の政治問題にまで及ばんとすれば、両陣営は水と油との接触であって絶対に調和は望めない。従って実際問題として、政治問題が解決するまでは米兵の朝鮮退去は不可能であろう。唯ソ連の信念はわざ／＼戦火を交えずとも自由主義経済は必らず行き詰り、共産思想が自然と成長し、結実すると云うのである。

此の休戦會談が円満に進捗して行けば、中共の国連加盟問題も盛り上って来ることになるであろうが、こうなれば台湾の国府が自然消滅の憂き目に會うので国府は神経過敏にならざるを得ぬのである。

然らば次に休戦會談成立後の日本はどうなるかであるが経済的には、朝鮮特需が無くなり、軍需品に代るに復興資材が朝鮮に向けて輸出されることになろうが、後者の輸出はとうてい前者のそれに比すべくもない。現に休戦會談再開の声と共に戦時株は急転直下したのである。然し、此の種の特需の稀薄化傾向は日本だけの問題に止らず世界的のものとなるであろう。外字新聞に依れば、米国に於ては既に其の対策が検討中であると伝えられている。

話はもとに戻って、朝鮮の休戦會談が円満に成立し米軍が朝鮮から退くと仮定した場合、日本の対内対外の治安の問題が云々されて来るであろう。そこに此の度の総選挙に軍備必要論と不必要論とが相対立し、それに随伴して憲法改正の必要論も議論の対象となるのである。所で日本の軍備について一言すると、唯今の日本の軍備は対内的にも対外的にも無用の長物なのである。つまり今日の保安隊の内容を見ると、米軍の払下の舊式のタンクや、舊式の大砲で訓練を受けているのであるがタンクや大砲は国内治安には全く役に立たない。又、舊式のタンクや舊式の大砲では、外国の新兵器には歯が立たないのである。して見ると今日の保安隊は対内、対外両面に対して為す所なしと断言してもよいのである。

日本は過去に於て軍備に大豫算をとり乍ら敗戦した。而も當時の日本の経済力は、今日のそれの何倍もに相當していた。現在の貧弱な経済力では到底大した軍備は望めないこの貧弱な軍備であって見れば諸外国は日本を攻めようと思えば何時でも攻められる。同じく攻められる貧弱な日本であって見ればむしろ無武の備で、平和攻勢に一貫した方が賢明である。たゞその独立国として国内治安が可能であれば足りるのである。国内治安は、政体の如何を問はず必要なのである。日本人が軍備々々と云うのは笑止の沙汰である。米国が東洋の共産勢力に対抗するには東洋人を以ってし、米国自身の犠牲を極小に留めんとする米方式を日本人は皆知っている筈である。日本人は自己の経済力をよく自覚すべきであって無謀な政策には組しない方がよい。

話が横に滑りかけたので、又本筋に戻り、総選挙に触れて見たい。有権者は、今何党を選ぶかとか、誰を選ぶかとか云う事について色々考へていることであろうが、私もこゝに私見を一寸出して見たい。日本の国を観て著しい弱点と思はれる点は日本に経済力がないと云う事である。国家の経済的方面の弱点を弥補して行く為には、経済面に関連する機構運営に徹底した計画性を持たすことである。内閣が更迭する毎に方針や方法が異っていては、財界の人心も不安定となり積極性に欠けて来るであろうし、貿易などにも大きく響き、何時まで経っても日本経済は振はないことになる。計画性の有無が経済界に及ぼす響きが如何なるものであるかをこの貿易の面から見ることにしよう。それには日本の貿易の不振の原因を反省することが、この方面の理解に資するであろう。

日本貿易界の不況の原因の第一は、原料の輸入に當って外国船を使用することが多く輸送料に外貨が要るため、原料費が豫想以上に嵩むこと、第二に、工業に使用する日本の国産石炭が高価に過ぎること、（外国は機械が進歩している上に石炭層の厚みが大なるため労働者一人宛の発掘量が多くなり、従って石炭の価が安くなり、日本に輸入される外国炭の方が国産炭より安価であって、日本の工業者は寧ろ輸入炭を購入することを望んでいるのであるが、日本の政黨の政治献金が日本の石炭業者から多額に出ている為に、日本の政治家は日本の石炭を追放するような政策を採る筈がないのである）、第三に外国（特に英国）が日本の貿易進出を阻止せんとして、日本にとって香しからざる法規を設けること、第四に、工業者が製品の製造に當って必要とする金融の金利が高いこと、第五に、工場施設が老朽化していて生産の能率が上らないため製品に要する労働賃が嵩み、従って製品の単価が高くかゝること。第六に、日本の輸入はドル地域から主として行われて、輸出はポンド地域向の場合が多く、結する所ドルとポンドの交換が円滑に行われない為に、貿易業者の方で一方に偏して動きがとれなくなっていること。第七に日本のお得意先である中共地域との貿易が極端に制限されていること等である。此の様な貿易上の難点の大部分は、計画性の欠除と云うことになるのである。其の計画性を最も発揮し易い政治的条件は社會主義的な行き方と云う事になるのである。然らば、日本は社會党に依って救われるかと云う問題が起るのであるが私が日本の現状を見た感じではまだ／＼社會主義は奏効しそうにもない。例へば、官公吏にして不必要な出張などをして、公費を惜気もなく費す事例とか、又學生が學校の備品を平気で破壊している事例とかをよく見受けるのであるが此の様に、自己に直接苦痛を与へない公費を濫費しているようではまだ／＼社會主義政策は成功しない。もう少し民心の陶冶が行はれた後に初めて、社會主義は成功する。

その様に考えて来ると、此の度の総選挙に當って何党を選ぶかに就ては悩まざるを得ぬ。唯次の様な結果は豫想出来る。

①絶対多数を獲得し得ないにしても自由党が第一党である。

②誰が首班となって組閣しても其の内閣は短命である。

此の様な不安定状況は日本の復興には大きなマイナスである。斯る間に、隣國中共よりの引揚者の土産話として、中共の目覚しい進展振が伝えられている。これは単なる宣伝としてのみ受取ってはいられまい。世界は動き中共も昔の支那に留らず絶えず動いているのである。中共の長所などは、よく學びとって明日の日本の建設に邁進しなければならない。（二八・三・三一）

（筆者は本校英語科教官）

内海市長

〃自分を鍛えよ！〃

インタビュー

四月二十日午後四時過ぎ蘆屋市役所に内海市長のインタビューを行った。早速、市長室に通され記者が発する質問に対してゆっくりした語振りで學生時代の思い出を語られた。

生れは播州龍野と云う所、大正十一年大阪中學の第一期生として入學したが、當時は學校生活の目標も〃こせこせした人間〃を作らないとにあり、自分も色々な面に於て大いなる責任を感じ、一つ一つの行動にも力が入った〃人間の錬成〃という事もやかましく云われ、修身の教育等は非常に厳しかった。事実中學校を卒業したものとそうでない者との相違は社會に出てからはっきり表われていた。軍事教錬は當時に於てはあまり重要視されず、その時間をサボッても、あまり罰は受けなかったりして戦時中の軍事教育とは全然違っていましたねと云われる。

學課の方では語學が盛んで独語は特に重視されていたので、自分も独語を志願して大いにいじめられた。大學の試驗にも独語を専攻する「文科乙」の方を志願して大正十四年四月に東京大學の文科に入った。當時の競爭率は今のように激しくなく、七人に一人位が最も高い競爭率で、普通は三人に一人位であった。大學では東大の他は京大を除いては大學としての価値はあまり認められていなかった。スポーツはラグビー、テニス等が盛んで、學課は三年間に十八科目を取れば良かった。

當時は高校生も現在のように、みだしなみこそ良くなかったが、こせこせしておらず寛大な気持を持って自由に學問を研究していたが、教育方針は所謂〃つめ込み主義〃であったし、四年からでも大學受験が許されていたので、その勉強振りは猛烈なもので、現在のようになまぬるいものではなかった。その反面、非常にぼんからで、時として友達と連れだって酒も呑みに行き、天下國家を論じ、へイゲル或はカントを論じて、その豪快さを誇り、高校生としての誇りを失わずにいた、と如何にもなつかしそうに語られた。

高校では新聞に対する認識がうすかった為に新聞部というようなものはなかったが、大學では緑會という新聞部があった。

一般に質實剛健ということを誇りとしていたようである

最後に我々現代に対する注文として「現在の學生はもっと自分というものを鍛えなくてはならない。昔のようにぼんからになり過ぎては困るが、學生らしく文化的な考えを持って學問の研究に沒頭してほしい。しかし健康を害しては何にもならないから身体には勿論注意していなければならない」等と仲々有難い御言葉を頂き、しっかりやりなさいという激励の言葉を頂いて失礼した。

—二八・四・二〇—

今年度方針

丸茂先生

教務課より

教務課の仕事はカリキュラム即ち學課の時間割の原案を考えたり學課課程を主な仕事とする。本年からは各學年共多少強い學課コースが出て来た他は大した変動はありません。最近、就職、進學の困難が目立って来ているので絶えず阪神間の各校のカリキュラムを検討し遅れない様にして行く、勿論この事は毎年行って居る事ではあるが、もっと組織的に考察する。生徒諸君に取っては単位と言うことが重要になってくるが、この認定について、學年と良く連絡を取り、仮にその不足者が出た場合その者を繰越させて行き、皆の者が単位を取れる様に努力する。又だんだん學校の組織が大きくなるから左右の関係を緊密化させる。この様なことが教務課の仕事であり方針です。

生徒に望む事

自分の労力を十分に自覚してほしい。それが原因で進學就職に失敗の恐れがあるからです。學校側ではカリキュラムの重点を進學、就職におき珠算、英會話等のカリキュラム強化をし、線を太くして行きたい。だから生徒側もそれを自覚して頑張ってほしい。

最近生徒間及先生との礼儀の疎くなっているのが目立つ。社會に出た時には、その悪い習慣が影響するから上、下に対するエチケットを自覚し気をつけることを望む。

授業料値上げさる

本年度より五百円に

県立高校授業料値上げ問題をめぐっては、昨年度より県財務當局と県教育委が真向から対立し、県教委宮下豫算係長は、「値上げの必要は認められぬ、従って値上げに関しては絶体反対の基本方針を確保する」と談話を発表し二月の県教委會に提出された文教豫算は県當局と県教委側から二つの異った豫算が上程されるという県官始って以来の珍事が起り、その成行は注目されていたが、結局、教委側が學級費増額の条件によって腰くだけの状態となり、こゝに又もや授業料値上げが決定した。本年度の授業料は全日制五〇〇円、定時制二五〇円である。尚一昨年度の授業料が全日制で二五〇円であり、あまりにも値上げが激しすぎるとの声も聞かれる。

昭和二十八年度校務分掌表

総務部（福田）
- 庶務―杉山
- 文書記録―野村、立花
- 放送―岩田
- 調査―魚崎、新堀、岡崎
- 給品―多田

教務課（丸茂）
- カリキュラム―永井、栃橋、大松
- 時間割―松井、福山
- 単位監査―三木
- 用度―深井

補導課（金友）
- ホーム・ルーム―安田、芳賀、井上
- 保健―土井、岩村、辻田、大橋
- 職業指導―松本、山本
- 共済―曽谷

生徒課（杢谷）
- 自治會―熊谷、伊東
- 風紀―藤原、碓井、小松、川村、吉川、佐伯、津田
- 集會―伊東、忍那、出口

管理課（御保）
- 備品管理―木田、金崎、津村、奥田
- 遺失物―島田、千葉
- 美化―中島、前島、岡村、水上、檜垣、佐藤

図書課（山田幸）
- 図書、撰択、発注―石田
- 受入、分類、目録―山田（幸）
- 貸出、製本、會計―河野、武藤

事務課（三谷）
- 會計（支）―渡辺
- （入）―伊永、山口
- 庶務―塚本、伊藤、三木

第一学期行事予定

【五月】
- 一日　三年生実力考査第一日
- 二日　〃　実力考査第二日
- 一、二年生春季遠足
- 十八日―二十日　一學期中間考査
- 二十三日　三年生修學旅行出発

【六月】
- 一日―六日　學年別父兄會
- 六月上旬　標準學力考査

【七月】
- 七月上旬　摂丹地区學力考査
- 十日―十四日　學期末考査
- 二十日　終業式
- 夏休み

水虫に
エスチン
当店調製
何をつけても治らない方は
是非一度御試し下さい
K. K. 東京薬局
芦屋市大桝町36　電話 芦屋 2827

お好焼は
若林へ
（芦屋会館そば）
蘆屋市茶屋之町五四

就任五ケ月

自治會長　近藤栄二

いよいよ新學期が始まり我々執行部が発足してから早や五ケ月近くなった。ここで私は私の約した公約が実行されたか否かを自ら反省してみたいと思う。

まず私の最も強張した全會員のための自治會について考えて見た。私はこの場合主観的な立場にあるため、公平に見る事は困難であるため會員諸君も一考をお願いする。しかし四月末より行はれる全會員のための運動具竝びに傘の貸出し。又この新聞より始まる一學期間中の代議員會及び執行委員會の報告。新たにもうける投書箱等によっても相當の好果はあった事と思われる。そして我々の残った任期の間私は一層努力したいと思っている。

細目としての第一は生徒大會である。十二月以來生徒大會は、毎月開會されている。まだ定期開會にはいたらぬが私の約した開會数の増加は果されたわけである。

次は新聞放送等広報機関の活用及びその充実についてである。活用の方は兩部部員諸君の偉い御努力の結果非常な進歩をとげた。又昼食時における代議員會及び執行委員會の実況録音放送等も放送部の方と具体的に話がまとまっている。経済的な面では二十八年度の豫算を見ていただいたらよいと思う。

校内美化の点については最早植樹もすみどうやら全部ついた様子これでこの公約の一部は果されたと思う。

又生徒手帳は學校側との話合いにより五月までには諸君の手に渡るであろう。（生徒手帳の発行は學校側にある）

以上が私の公約の現在の様子である。これにはまだ完全に果されていないものもあるが、しかしなほまだ私の任期は後七ケ月を残している。これらがいかに果されるか諸君の御協力を乞う。

最後にこの五ケ月間私に常に協力し助けて下さった。出版部の北村君。放送部の柳井君。美化部の寺田君代議員の貫志君を始めとする方々に紙上を借り厚く御礼申し上げる次第である。

先日或る友達より忠告をいたゞいた。「近藤は非常に独裁的だ。けしからん。」と云はれている「注意せよ。」と云はれたのである。私はその友に感謝すると共にその影の声の主に対してあるいきどほりを感じたのである。

私はこれを聞いて直ちに自ら反省すると共に執行部の委員達にそれが事実であるか否かを問いたゞして見たのである。答は豫期した通り「そんな事はないよ。」と云うのであった。私は紙上を借りそれらの人々を始め全會員諸君にそれが全く事実無根である事を弁明する。

私は弁明すると共に、これらの言を発した人々におたずねする　諸君はいかなる根拠があってかかる言を発せられたのか。そしてその出所はどこか。考えて見よ、今まで私が独裁であったか否かを論ずる事の出來る人は私の執行委員會における言動をじっくり見聞された人でなければならぬはずだ。しかるにその資格のある人は二三の人よりないとは。そうして見るとその私に対する批判は全く口から出まかせのでたらめに過ぎないのではないか。

私はこれらの言を発した人々を始めとする全會員諸君に勧告する。私竝びに執行部に対し意見のある方は影でこそこそ云うよりも正々堂々と直接執行部まで來るか、生徒大會で発言するか、又は新聞紙上により批判していただきたい。

私は諸君に対し勇気を持てと云いたい、生徒大會で発言し得る勇気のある方は無い様な有様ではないか、これではいくら我々執行部が努力しても君達の協力なしには自治會の発展はのぞめないだろう意見のある方はどしどし申し出てもらいたい、それが結局は自治會に協力している事になるのである。真に自治會に関心を持ち我々に協力してやろうと云う気持を持っておられる方の出て來られる事を切望する。

そして最後に全自治會員諸君の自治會に対する協力を再三再四お願いする。

新入生に送る

自治會長　近藤栄二

新入生諸君御入學おめでとう我々一千余名の在校生は心底より君達の入學を歓迎するものである。

しかし今は最早入學の喜びにのみひたっている時ではない諸君の前途には小は年々の試験から、大は激烈をきわめる大學の入試、そしてそれに続く就職戦線へと苦難の道はどこまでも続いているのである

それと共に諸君は、我々若人に課せられた幾多の使命の重大なるを自覚せねばならぬ。

諸君は常にこれらを念願に日々精励刻苦せられよ。

諸君の中には、何等新たなる決意もなくただ中學からの惰性で入學した者もあるであろう。かかる人は我々蘆高生にとって最も恥づべき、また軽蔑さるべき人々である。われわれ蘆高生は常に新たなる抱負とそして堅い信念とを持っているのである。我々は諸君がしだいに真の蘆高生としてのこれらの条件をしだいに身につけて行かれる様切望する又諸君の中學から高校への進學が精神的にも少年より成人への転換期となり一大飛躍する事を切望する。

そして蘆高生としての第一歩を決意も新たに雄々しくふみ出だされん事を祈る。

いわば蘆高は自由の園であると共にきびしい學園である。

諸君は學生の本分を忘れず常に勉學にいそしんでもらいたい。

又諸君は蘆高生であると共に蘆高自治會の一員である。常に我々上級生に協力し「會員相互の人格の尊重、親睦、団結の促進、學問と學園の自由」等本會の目的遂行のため努力しなければならない。

それと共に諸君は先輩諸氏のきづき上げて下さった輝い校風と伝統維持のため努力せねばならぬ。

諸君は一刻も早く我が蘆高の雰囲気になれその実体をつかみ我々の良き協力者となってもらいたい。

諸君は常に蘆高生としてのプライドを持ち真に恥ぢぬ所なき様、悔のなき様行動してもらいたい。

次の蘆高をになう者として我々の良き協力者、良き後継者として我々在校生の諸君に対する期待は大なのである。では諸君の奮闘を祈る。

新任先生紹介

アンケート

過日、本校に就任された諸先生に対して次の項目でアンケートを行った。

1、出身地、出身校（前任校）
2、趣味、特技
3、本校における第一印象
4、本校生に対する希望

岡崎　研

①佐賀県東松浦郡鏡村鏡　広島文理大数學科卒

②何事でも下手の横好きの方であるが、強いて云えば、碁、読書、散歩等で特技はなし

③自由な學園だと云うことを感じた。

④青年は次の世代を担う大切な使命を與えられていることを自覚し、目前の安楽に目がくらんで、いたずらに安逸に過すことのないように、目前だけを見ずに大局的立場に於いて考えよ、単なる一時凌ぎの勉學はせぬように、全て自己の一生の設計と云う大きな見地に立って、九層の楼も類土より起るとの例の通り、不断の努力で以って充分基礎を培養していただきたい。共に若い者同志として熱と意気で切磋琢磨していきたい。

檜垣　守宏

①愛媛県　広大理學部動物科卒

②麻雀、釣、音楽鑑賞、剣道

③靜寂

④青年意気に感ず

石田　良雄

①大阪市　大阪城東専門學校卒（大阪商業大學附属高校）

②読書、特技は野球、自動車運転

③美化の点で今すこし努力がたりない様に思う。

④礼儀正しく動作を速くすること。

佐藤とよ子

①香川県（高松市外）奈良女子大學卒

②旅行

③静かな奈良女子大での學生生活を離れ始めて、数多くの男生徒のいる蘆高に参りましてその騒音と校内の雑踏、殺風景さに消耗し、一抹の淋しさを感ぜさせられたのがいつわらざる私の第一印象でした　しかし明朗活潑な高校生としての今後の発展に期待致しております。

④全国にその名をとどろかせその歩みを見守られている蘆高生としての期待を裏切らぬだけの活躍を希望します

土井秀太郎

①大阪府　広島高等師範學校（市立尼崎高等學校）

②写真、読書、スポーツ

③男子、覇気あり洗錬　女子、理智的である、優雅さ

④人格の完成をめざし、平和な国家及び社會の形成者として真理と、正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ自主的精神にみちた、心身共に健康な国民となることを望みます。

『芦高に入って』

一年G組　楠本　寛

我々新入生が過去三年間の中學校生活に別れをつげて、憧れの蘆高生活に入ってから早くも二週間たった。我々はその間に何を感じたであろうか？校舎が汚い事、いやそれよりも先ず僕は上級生、下級生間又は先生と生徒間の礼儀についてだと思う。我々新入生はつい一ケ月前までは各々の中學校の最上級生であったのです。その時は礼儀という事について随分やかましくいわれたものだ。それが高校生活に入るとどうだ。礼儀を中學校え置いて来たかの様に振舞う者が非常に澤山います。

これはどうした事だろう。たまに道で下級生が上級生に対してあいさつをしても上級生はそれに対してごく一部の人だけしか答えないで他の人は皆ぶいとそっぽを向くか、又は全然答えようともしないのは何故だろう。これでは礼儀が普及しないのも道理です。我々はこれでいいだろうかもう少し反省してみる事が必要ではないだろうか？

先生と生徒の間でもその事はいえます。先生とは先に生まれると書きます。つまり目上なのです、やはり目下の目上に対する態度又目上の目下に対する態度も必要だと思います。僕の様な下級生がこんな事をいうのは生意気かも知れません、しかしこれは社會生活に於ける道徳です。これを知らずして人間といえるでしょうか？　やはり社會生活を営む以上、社會の道徳は守らなければならない。校舎内では上級生の一人一人に礼をする事は不可能ですが、登校下校の途上で會った時下級生はやはり上級生に対しての礼儀をつくすべきです。以上何か悪い事ばかりを書いた様に思えますが蘆高には蘆高としてのよい所があります　それをのばしてゆくのもいゝが反面に悪い所を皆が協力して改善してゆかなければならないのです。我が校にはまだ皆んなの一致協力という事がたりません。これを改善してこそより立派な蘆高が育ってゆくだろうと確信する次第です　くだらない事を長々と書きましたが、これによって少しでも皆んなの協力が生まれゝば幸いだと思います。

昭和二十八年四月二十五日
入學にあたって

昭和二十八年度

「執行部日誌」抄

二月十一日（水）津本、千速先生見舞金募金開始。この日執行部室に、再度學校側へ要求していた電燈完備する。

二月十五日（日）近藤、堀内、上田、桑原、津本先生見舞のため阪大迄出張。

二月十六日（月）この日執行委員會に依り盛んに公約をしていた植樹の件につき校庭西側にプラタナス十五本植える事に決定。生徒手帳自治會側編集は、上田、荒木が責任を持つ事に決定。

二月十九日（木）自治會機関誌「蘆苗」発行。

二月二十三日（月）運動場北・西部にプラタナス十五本植樹。

二月二十八日（土）第四十四号新聞発刊。

三月十二日（木）第三回執・學懇談會一時より、三三一号にて開く。内容は豫算案審議について生徒手帳編集の件その他。

三月十五日（日）一時より図書館に於いて第一回同窓會との懇談會開く。執行部の方から簡単な自己紹介から始め懇談に移った。同窓會から盛んに今の蘆高生はなっていないと、きびしい批判が数多く出た。

この後緊急執行委員會を開き、豫算案を審議した。この日は初めての豫算會議なので生徒数からみての全額を計算各部細分からやり大体の三大部別の比率を計算した。

三月十六日（月）生徒手帳の生徒申合せ事項を審議するため、會長指名により専門委員會を開いた。

前の事項の二十九項目やゝ省略し、大体は元のまゝであるが、二、三変った所もある。但この原案は代議員會の承認を経て、學校側へ提出する。

三月十七日（火）生徒申合せ事項審議のため、寶志君司會により代議員會開く。専門委員會原案一部附加の後、これを承認。

この日幹事會により歴史同好會文化部昇格となる。

三月十八日（水）生徒申合せ事項學校側へ提出、これを承認。二十四日の生徒大會の承認を得て、生徒手帳に記載する。

三月二十三日（月）第二回豫算會議開く。三大分別原案を決定。これを明日の幹事會にかける。

三月二十四日（火）終業式終了後、生徒大會開く。生徒申合せ事項大多数をもってこれを承認。史學部の昇格の公示。堀内副會長により植樹について説明の後、近藤會長より千速、津本先生の礼状が自治會宛にきているのを朗読。

放課後幹事會により、三大分別原案承認を得る。

三月二十七日（金）熊谷、伊東先生出席のもと執行部豫算會議開く。この日各部細分原案を決定する。

四月十日（金）文化部　部外局細分豫算會議一時より開く。

二部門とも相當もつれたが執行部原案通り可決。

四月十三日（月）運動部豫算會議土方運動部長司會のもと開く。

文化部に比べ　非常に意見の少い會議に終始したが、これも原案通り可決。

四月十四日（火）今年度第一回代議員會開く。まず初めに代議員會長の選挙から始め結局駿井均君が四票の差で、賀志君を引き離し決定した。

その後新豫算案の審議が行われ、図書部と執行部との対立もあったが結局満場一致でこれを承認。

四月十五日（水）今年度第一回生徒大會昼食後開く。代議員會長就任の挨拶があり、次に新豫算の承認。運動具借出しの件について、土方運動部長より説明、傘借出しについて牧野副會長より説明があり、この大會によりソフトボール部解体が決定。

四月十五日（水）代議員数名と執行部と懇談。代議員會の権限を無視されがちであると云う代議員會側からの要求があり、それに対して近藤會長より答弁されたが非常に長びき結局散會となる。

美化について

副會長　堀内英将

在校會員は進級、更に至所に五百余名の新顔の會員を迎えた我々役員は、以後一年間の各部面に於て更に大きな期待を掛けたのである。

國家の緑化運動とともに蘆高に於ても、美化部員の手によって作られた花壇にも赤、黄、紫と色がついて來た、又先日発表したプラタナスの木も植樹後一月半、執行部、美化部員の念願もようやく遂せられ枝の先には芽が出、張切れんばかりにふくらんでいる。これからの生長に全會員で面倒を見てやって貰い度い。

しかし一方校内清掃と云う事になると全く駄目である。

自己知識向上の勉學に満心を注ぐのも、クラブ活動を活発にし発展を目ざし自治會に対し情熱？……をかたむけて呉れるのも実に結構である、しかしその為に校内清掃に対する関心がかき消されると云うのであればそれは遺憾と思う。校内美化への自覚に関しては、機関誌に再三載上されている事柄である。にもかゝわらず、校庭に箒が置き忘れて有る、誰も直そうとしない、廊下には紙が落ちているが誰も拾おうとしない、机の上は彫刻だらけである、この様な状態でどうして自治會の発展が蘆高の発展が望まれよう。いかに校内充実を説えても実行に移そうとしても、全會員の意欲、美化の精神、協調等がこれに協力しないならそのものは無力である。

新學年はすでに開始された、諸君も各自計画を立てられたことであろう。美化委員會もあるいはそれに関係される諸君先輩も、以前とは態度を変え再出発をする覚悟である。

會員も再度自覚し全員こそって校内美化に協力されることを切望する。

運動具貸出し

執行部

去る十五日より、自治會員全員に餘暇をよりよく利用していたゞくために、執行部が運動具を購入し、貸出を体育教官室で行っている。運動具はバレーボール三個、ソフトボール五個、バット五本、ラグビー、サッカーボール、バスケットボール各一個であり借出しする場合は、体育教官室に用意された借用簿の所定の所に記入の上、体育科先生より借出すことが出来るようになっている。せいぜい利用されたい。

図書部報

二十四日の総會をもって本格的活動に乗り出した図書部は、これからの活動について色々討議を行った結果、先ず雑誌購入について、これ迄の購入方法について厳しい批判を加えて、新しい企画によって生徒の希望をより多く取り入れるよう努力することに決定した。具体案としては、図書部購入の十七册の雑誌を傾向的に一定な比準に分け、その各分野に於いて各クラスから希望雑誌を聞き、それを図書委員會で決定することにした。これから部の活動として一週一回の幻灯會及び館内展示等多彩な試みを計画し、各人の希望はクラスの委員に伝えていたゞくように決定した。

左の表は雑誌購入についての図書部決定原案である。

傾向	册数	現在迄の册数
綜合（全般敎養）	3	4
受驗（英語も含む）	3	3
科學	2	4
文學	1	1
趣味（映畫スポーツ音楽）	3	2
時事（グラフその他）	2	2
女性	1	2
カメラ	1	1
計	16	19

参考として今迄の購入傾向も示してあるので色々検討していただきたい。近日中にこの事について相談したいと思いますから図書委員は必ず集って下さい。

新購入図書

○ロマン・ロラン「ジャン・クリストフ　第六巻」
○理科事典14・15（平凡社）
○生物學大系（中山書店）
○私たちの生活百科事典
○現代世界文學全集（新潮社）「ジャン・クリストフ」全巻
○石母田正「歴史と民族の発見」
○新百科辞典（三省堂）
○理論物理學講座(1)(2（弘文堂）
○ルソー「告白録」（河出書房）
○国民の政治（朝日新聞社）

衆議院議員

選挙こぼれ話

どこの選挙にも必ず無効投票の中に傑作が出て來る、これは大阪第一区の無効投票の中からその秀逸作を拾ったものである、曰く「天皇陛下に清き一票を捧げる」「東条英機萬歳」「舌先三寸該當者なし」「共産党頑張れ」、ETC中には唯今流行の〃アジャパー〃と書いてあったのも見られて係員の苦笑をさそっている

職員人事移動

転任
永田先生　尼崎市立高校へ
小前先生　兵庫県立篠山高校へ
曾・先生　実践女子大附属高校（東京）へ

進學成績

振はぬ入學率

東大・京大に各二名

今年の入學率は例年に較べて良くなかった。毎年七〇％合格率を誇った本校も、今年度卒業生の合格率は非常に悪かったと云って良い。このあたりで大いに考え直す必要があると思う。幸い學校側の方針も受驗重視の傾向にあるので来年こそは今年の不名誉を挽回してほしい。

東京大學
（文一）伊藤　衛
（文二）藤尾　直正（卒）
（理一）渡辺　弘也（卒）

京都大學
（農）石井　弘
黒岩　敦（卒）
（工）森　鎮（卒）

大阪大學
（文）増山　寛子
姫井　千寿
福地　冷子
（理）柳原美惠子（卒）
（工）大隅　寛
岡本　正光
荒木　功敬
入江良三郎
滝川　貞昭
谷田　光範

神戸大學
（経済）西村　義之（卒）
（経営）増上　龍吾（卒）
東　恭道（卒）
三吉　脩介（卒）
船井　純二
（経営二）山下　耕作（卒）
酒井　真治
笠松　博
（法）近藤　和雄（卒）
（文）太田　正子（卒）
（工）水谷　顕介
渋沢　郁雄
（教）楠本　臣子
横河　孝明
古本　保雄
井上　晶子
三輪　啓子
原　昌枝
河水　博子

北海道大學
平松　道子

福井大學
（経済）岡本　彬男

岐阜大學
（工）河合　飛治（卒）

和歌山大學
（経済）黒岩　義之（卒）
熊井　晃

大阪外大學
（英語）井本　太郎（卒）
庄田　久雄（卒）
（中国語）平井　寿一

東京農工大學
（農）光本　守幸

名工短期大學
関根　英司

大阪學藝大學
井上　哲明
渡辺　一
服部　勝彦

東京教育大學
（芸術）田中　為基

神戸商船大學
（航海）北　正雄
（機関）塚本　成就（卒）
中本　修

保安大學
石原　隆

大阪市立大學
龜井　聰毅

神戸商科大學
福田　正男（卒）
井上　貢

神戸外語大學
（英）佐野　良孝（卒）
鈴木　健三（卒）
高橋　永佳（卒）
細江　博文（卒）
岩田　英昭
吉田　勲
上坂　滋雄
高橋　義郎
吉原みどり
滋賀真智子
伊藤　雅美
（英夜）松山　範三（卒）

浪速大學
（文）伊藤　実
（農）小松　幹男
（工）木村　三郎（卒）

大阪府立女子大學
（国）常田　孝子
（英）滋賀真智子

姫路工科大學
（電）喜多　照隆

西京大學
（文）堀江　欣子

西京女子短期大學
（家）三好　敏子

慶應大學
（経済）生田　正治
（文）荒木　道実（卒）
渡辺　俊作（卒）
土河　次郎

早稲田大學
（商）杉浦　宏（卒）
石本健二郎
栃木　勝夫
太田　久
井上　貢
桒山　公一
藤井　翔之
（法）須田　悦三（卒）
武内　信彦（卒）
山村　耕造
（文）荒木　道実

明治大學
（法）大利　吉弘
天王寺谷修
永島　明
山田　雅
八木　憲吾

日本大學
（文）喜多川真朔
中田　潤介
（医）坂上田博文
岡本　秋穂

中央大學
喜多山真朔
渡辺　範夫

関西學院大學
（経）西村　義之（卒）
高橋　永佳（卒）
中崎　悦蔵
井田　厳
（商）水谷　章三（卒）
佐々木知弘
室井　明
石田　忠雄
岡田　武彦
土居原作郎
田中清三郎
栄川　洋
西畑　耕治
村上　国一
浅井　実幸
堀口　武彦
前川　良平
徳永　雄彦
（法）佐野　良孝（卒）
足立　宗三（卒）
橋本　菊雄（卒）
猪飼　邦義
山口　勝平
北　正雄
（文）高見　哲夫（卒）
松村　和明
田中　真弓
（短商）古賀　恭一（卒）
福田　佳一（卒）

関西大學
（経）浜田　雅義（卒）
那須　靖行（卒）
粟原　正博（卒）
植田　卓二
友金　悦蔵
北野　昌治
林　忠夫
藤原　史生
永井大三郎
林　千寿
池田　武志
桝岡　博司
（商）小島　規之
西村　豪夫
冨本　務夫
岩本　武
加賀　顕隆
山本　広司
内藤　和彦

立命館大學
（法）食満　幸久
森　昌毅
大利　吉弘

同志社大學
（商）舛石　瑞次（卒）
寺川　正昭（卒）
首藤　将
加本　圭二
村上　庄二
小笠原平八郎
助野　吉正
（工）本郷　富彌（卒）
本岡　章（卒）

東京農科大學
（農）杉下　治郎

大阪工業大學
福井　淳
山本　洲
池田　武志
樋口　治
大林　亘

大阪經濟大學
友金　悦蔵
木村　讃
熊野　昭朗
大林　亘

近畿大學
春木　成信
大野　太郎

大阪歯科大學
多仁　伸浩
中川智英子
橋　稍一郎

大阪薬科大學
瀬内　頴子

福岡商科大學
島田　雅行

昭和薬科大學
平松　道子

神戸女學院大學
松木　悦子
岡村佳津子
稲田美佐子
上田　日子
伊藤　雅美
福田由紀子
浅野　弘子

神戸女子短期大學
久保　喜代
大芝加津子
加川　昭子
小林　一子
高島　迪子
八島　光子

神戸女子薬大
井上　昌子
岡村佳津子
板谷　美実
常山　公子
山崎　由実

武庫川女子短期大學
丹羽　和子
三枝　倫子
黒川　年野
冨倉　正子

昭和女子短期大學
前田　泰子（卒）
山形　敏子
吉田　光子

神戸山手女子短期大學
佐藤　寮子
武田　照子
平田　良子
藤森　節子
浅沼　英子

樟蔭女子大學
（文）島崎　正子

樟蔭女子短期大學
森田　貞子
林　礼子

大手前女子短期大學
杉浦　弦枝

共立女子大學
石川富久子
小川百合子

甲南専攻科
北条　寧子

甲南大學
（経）木本　農（卒）
砂川　彰雄
荒金鋳三郎
植田　幾雄
黒石　文平
（文）太田　正子（卒）
（医）猪原　浩光
林　幹也
樋口　龍男
柴田　隆俊
島　弘之
政岡　基則
吉崎　久雄
西田　憲弘
小坂　昭作
増田　芳之

同志社女子大學
川浦美恵子
大隅　温子

遂に八割突破！

四月十日現在就職率

二月十八日迄の就職状況は前号で発表したが、その後状況は着々と好転し、四月十日において就職率は八割一分三厘の高率となり、決定者は九一名（男十五名、女七十六名）にのぼった。求人数は非常に多く百パーセント決定も近いと見られている。

二月十八日より四月十日迄の就職決定者

男子
日興證券　草川　壽雄
北海道拓殖銀行　笠松　博

女子
大阪商業信用組合　茂野志寿子
住友生命　喜多村信子
兼松KK　伊藤　生子
岸本産業　司馬　延子
小松産業　竹井　勝美
塩田KK　天野智津子
三品取引KK　山田　りつ
平川商店　三谷美智子
三菱海運　古賀登志子
大阪商船　河崎　幸子
日立製作　井口　良子
大阪機工　〇中西安紀子
安川電機　安部　智子
住友化工材　加藤　弘子
尼崎肥料　淡路　弘子
吉原製油　井上　明子
キリンビール　須田　悦子
塩野義製薬　〇桑山　裕子
大阪三越　高島　景子
右　同　野村　洋子
神戸三越　竹中　君子
神戸大丸　家永　昭美
オリエンタル・ホテル　直木　貞子
オリエンタル・ベーカリー　白神博子、田坂博子
〇上野百枝
神戸大學助手　小林　一子

（〇印は二箇所に合格）

四月十日迄の就職状況

	男	女
求職者数	二三名	八九名
求人数	一〇八名	二三七名
就職者数	一五名	七六名

就職決定先内訳

	男	女	合計
銀行	七	二五	三二
證券會社	二	一	三
保險會社	〇	四	四
商事會社	一	一二	一三
倉庫	一	〇	一
金属工業	一	五	六
電気工業	〇	二	二
化學工業	〇	四	四
食品工業	〇	二	二
鉱業	〇	一	一
林業	〇	一	一
運輸	一	三	四
通信報道	一	三	四
商店	一	六	七
百貨店	〇	五	五
學校	〇	一	一
其他	〇	一	一
合計	一五	七六	九一

先生　記者　一問一答

―深井先生―

―衆議院じゃ再び自由党が第一党に選ばれて政権を握りそうですが、先生はどの政党を支持されましたか。

先生「私は元来政治といったものには余り関心がないね。特に私達が選んだ議員の実際にやっている事を見ていると、政治には只失望するだけだよ。愛想が尽きるからね。尤も國民の一人一人がみんなそう言って政治から離れて行くという事は、日本にとっては一つの不幸に違いないのだが。私としては社會党の出している政策を一応支持するんだけれど、それも実際的には果してどれほど実現されるか疑問だね……」

―學生の政治運動に対する御意見は

先生「反対ですね。學生はやっぱり自己の本分たる學究生活にいそしむべきだよ。よく現代の様に激変する不安な情勢の中では學生が勉強に専念できるかと言われるけれどね、そりゃ不安といえば私達の學生時代も不安だったよ。あの頃はマルキシズムの旋風の中でね。それでも目前の騒音に惑わされずに立派にやる人はやりましたからね、だから私も君達が勉強しながらも落ち着けない気分はよく分るのだ。」

―勉強といえば今年の蘆高の上級學校への入試率、随分わるかった様ですが。

先生「今年は新中の始めての卒業生だからいろいろと無理はありましたね。あの終戦直後の混沌期に先生も困られない、設備もお粗末、その他多くの不利な条件の下で勉強して来たのだから……」

―先生は昭和廿三年、蘆高の誕生と同時に入って来られた訳ですから、丁度五年間を蘆高で過された事になりますが……

先生「満五年になるかな。五年前の蘆高生と現在の人との比較、という事ですか？ そうだね、まあ自治會運動一つにしても、以前の人達は丁度黎明期に立たされていたものだから兎に角自分の手で創り出して行こう行かればならぬという気概があったね。ところが今の人達は先輩の築いてくれた基礎の上で安住している、といったきらいがあるのじゃないかな。これは何も自治會運動だけに限らず、そうした気概の欠如は勿論勉強の方面にも現われているよ。兎に角もっと自覚して勉強しなくっちゃ駄目ですよ。単位が三つも四つも不足しても平気で呑気な顔していられる生徒が一人でも困る様な間はね、蘆高も駄目ですよ。」

―先生は映画研究部の顧問をしていられますね。

先生「えゝ、映画は好きでしてね、小學校に入る前だから、そう、大正五、六年からずっと見ています。専門的な事は分らないけれど……。映画を三十年も続けて観ていると映画マニアだと直に言われるのですがね。マニアという言葉はどうかな……。私は楽しいから観る、これはまあ當然なんだけれど、そうした観方です。この頃は「映画五十年史」なんて本、よく出てますが、私なんぞの場合はそっくり「映画鑑賞三十年史」ですよ。昔観た役者などを近頃の映画で見ると又懐しいものだね。実際、懐旧の情で胸が一杯になる。」

―映画以外の御趣味は如何ですか。

先生「まあ条件次第だね。お金の有る時は有る様な……といった具合にね。趣味はとても広いのです」

―読書なども？

先生「えゝ。しかしお金と暇がないのでね。それに同じお金があって映画か本かという事になるとつい映画の方に使ってしまうからな……。実際私などももっと読書しなければならんと思っていますがね。」

―現在の蘆高生にお望みになる様な事、ありましたら……。

先生「自分本位にならずに貰いたいな。団体生活ですからね。団体生活には団体生活の規律があるよ。良い意味で各人がそうした規律に従う事だね。」

―最後に、よく問題にされるのですが、學業と自治會活動は両立するかという事ですが……。

先生「余程才能、勿論頭脳的体力的な綜合才能ですが、それに恵まれた人でないと無理だろうね、無理だと解った場合、それじゃどちらに重点を置くかとなれば、私は學業の方に重点を置くべきだと思いますよ。」

―四月廿二日、図書室にて―

美化運動

≈芦高を緑りの学園に≈

前副會長月足君提案の運動場植樹は昨年度失敗に終ったが、本年度は堀内君がその任に當り、まず二月十六日の執行委員會に於て、その具体案が定まり、校庭西側にプラタナス十五本を植樹することに決定した。二月二十三日校庭の北西部に「二楽園」より購入した、プラタナスを十米間隔で植樹し、その後各クラス當番制の水やり等の甲斐あって現在では十五本とも緑の芽をつけている。

AGOT
朝日会館学生音樂友の会
会員募集中／
五月例会
東京フイルハーモニー交響楽団
指揮　渡辺暁雄
16日（土）2時 6時半　17日（日）2時 6時半
六月例会
斉田愛子独唱会
12日（金）6時半　13日（土）2時 6時半
七月例会
シンフオニツク・ジヤズ
詳細は 211号教室　内藤迄

C.I.C. 海外交通　会員募集
アメリカ学生始め南米欧州各国男女3万名より日本人との交通申込殺到／　雑誌切手、新聞その他なんでも交換出来る（外国語不要、当会翻訳引受）
入会者に外国よりの手紙進呈（会則8円切手3枚要す）
大阪・枚方局区内岡新町
有限会社　世界交通クラブ
パリーC.I.C.日本支部

三年生修学旅行予定要領成る

本年度も學校行事の一つとして例年通り三年生の修學旅行を来る五月二十三日（土）より二十七日（水）の五日間にわたり九州方面へ実施されることになった。

猶本年は、東京方面希望者僅少の為全員九州方面へ旅行することになる予定。

【旅行々程】

五月二十三日十五時　神戸港出帆
同　二十四日　八時　別府着

A班
（二十四日）別府見學↓旅館一泊
（二十五日）別府発↓阿蘇山見學↑戸下温泉一泊
（二十六日）戸下発↓別府帰着

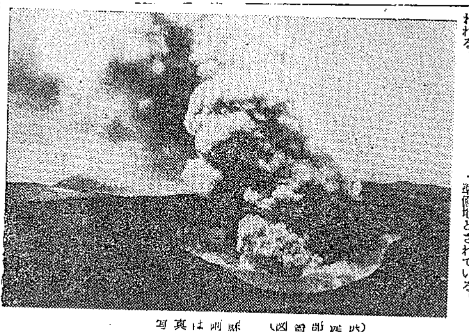
B班
（二十四日）直ちに阿蘇に向けて出発、A班と同一行程をとり戸下温泉で一泊
（二十五日）別府帰着、別府見學一泊
（別府で汽車、旅館の都合上二班に別れる予定）
五月二十六日十五時　別府港発
同　二十七日十二時　神戸港帰着

【別府市】は、大分県の東中央部、由布岳及び鶴見岳の東に傾いて、別府湾に尽きる所に位し、世界的に知られた大温泉郷で、風光に憧がれ温泉を慕う年間三百万の観光客を送迎する観光と療養を生命として発展した特殊な都會で一に泉郷と呼ばれている。泉源数は約二千五百、面積は約一〇一・〇一平方粁

【阿蘇山】は瀬戸内海と有明海とを結ぶ阿蘇水道と呼ばれる低地帯の中央に噴出した火山で、阿蘇の名称は、アソオマイ（燃える噴火口のある所）の語源から出ているといわれる。

阿蘇山の特色は、その規模の雄大であることで、阿蘇溶岩の分布は実に二〇〇粁に亘り、陥落火口の雄大さ、外輪山の聳立する岩壁、現に濛々たる噴煙と共に火山灰を噴出している壮観さは全く世界第一を誇るものである。

【戸下温泉】は白川と黒川の合流点にあって、渓流に臨む猫額地であるが、閑静で景趣に富んでおり、阿蘇登山者の準備地とされている。


写真は阿蘇（図書部提供）

若い青春の命が燃え盛る高校時代の、その燃料にでも例うべき三年生の修學旅行は、一年後に巣立つ學窓の思い出として、いつまでも胸中深く印されることであろう。

〃幾く年を経て
美しくならまほし
蘆高の頃の旅の思い出〃
（高橋保子＝先輩）

〃濡れて行こう〃はもう古い！
傘貸出しについて

副會長　牧野　宏

「春雨ジャー。濡れて行こう」も結構ですが、自治會の貸傘を利用されては如何ですか。近く自治會では雨傘の貸出を公約の一端として実施致します。そこで紙面を借りて大切な事をお伝えしておきたいと思います。最初に貸出について。

1、[illegible]ました。

2、貸出は執行部室で行います。

3、貸出時間は雨の日の昼食時と六時限終了後四十分間とします。ですから七時限授業の人は昼食時を利用して下さい。

4、貸出形式は本校の図書館の書物貸出形式に準じます（貸出カードを配って　そのカードと交換に貸出します）

返納については

1、返納は第一時限始業前二十分から一時限始業迄（八時十五分から八時三十五分迄と昼食時にお願いします（雨天の日でも結構です）

2、傘は貸出日の翌日に返納して下さい。（そして夜の中なるべく乾かす様にしておいて下さい）

3、返納遅延の際は一日に付き拾円を徴収します。

4、傘の紛失と破損の際は百五十円を徴収します。この場合の破損は使用に耐えぬ様な破損で他の場合は係で時に応じて適當に判断します。

5、返納すべき日が雨天の際も一度返納の後、又借りる様にして下さい。

貸出カードを紛失されたら再交附を受けて下さい。この様にして運営することにしました。何分始めての試みで不備な点も多い事と思いますが、その様な点は大いに改正してサービスという面を強調する様にしたいと思います。

×××××透視×××××

「ピンタ」

人の噂も七十五日、と云うが、極く僅かの人の間にのみ話し交されていつのまにか消えてしまう噂に「ピンタ」があると思う。私が直接に目撃したり、噂に聞いたりしたところでは、尤もだと思うのもあれば暴力へのノスタルジヤではないかと疑われるのもあったが、それが不思議に拡がらない。何故だろう。生徒が自らの非を悔いて受けた「ピンタ」を先生の愛の鞭として受入れたからであろうか。或は恨めしく思いながらも自らの非を認めないわけにはいかなかったからであろうか。それとも、理由も無く殴られたのを憤慨しながらも何かを恐れて、そっと涙を呑んだからなのであろうか。

「私達の時代にはよく殴られたものですが、お陰で非常に行儀が良くなったことを有難く思っています。今の子供も殴られた方がよろしいね」これは今日のラジオ（たしか街頭録音だった）で聴取したある父兄の言葉である。この言葉に対しては色々の批判があることと思うが、私はこの言葉を現在の教育に対する厳しい忠告として受け取りたいと思う（教育を受ける身にあって生意気かも知れないが）

後で述べる積りだが、私達の堕落した學校生活を諸先生はどう御覧になっていられるのだろう。知育の面でも、徳育の面でももっともっと積極的な——時には「ピンタ」も飛び出す程の教育をして戴けないだろうか。単なる「ピンタ」の為の「ピンタ」ならば生徒の反感を募らすばかりであろうか、真の子弟教育の為の「ピンタ」ならば、受けた生徒としても最初は恨みこそすれ、いつかは其手の暖味を感取する時があるのではなかろうか。勿論、決して「ピンタ」を奨励するのではない。純粋な師弟愛から許らずも生じた「ピンタ」であるならば學園内であるが故に互に微笑っておさめることが出来ると思うのである。だが、もし、それが逆コースに便乗した、拙劣な暴力へのノスタルジヤの発露に過ぎないならば……おゝ、我々は断乎として我々自身を守らなければならない

×

皆さんに——もう舊い話になったが、天野前文部大臣をして「修身復活」を唱えせしめた程現在の道徳は乱れている。私達の學校生活を省みる時真に恥しくなる。だがそれも唯一人して省みる時のみ。一歩學校内へ入れば私達の薄弱な神経は麻痺してしまう。誰が我家の畳の上で鉛筆を削る者がいよう。誰が我家の落書きに無関心でいられよう。又誰が我家の戸締りもせずに就寝することが出来ようそれなのに學校では平然として授業中でもゴシ／＼と鉛筆を削り、先生が黒板拭きを片手に講義されるのを無神経に見守り、木枯の吹き込むのを承知で窓も閉めずに帰ることが出来るのである。

これで良いのであろうか。否、何とかしなければ取り返しがつかなくなる。幸にも私達一人々々は未だ道徳的感受力を失っていないようだ。それを今の中に良き意味で結集しなければならない。結集して抹殺してしまうのではなくて、反対に生かすのである。では、全校生徒の道徳力を結集するにはどうすればよいか道は又真なり、皆さん、一人一人の生活を慎もうではありませんか。他人は如何にあれ自分一人は絶対に机上で直接に鉛筆を削らないでおきましょう。快く勉強出来るように黒板を拭き、戸締りは厳重にしましょう。その他個々の行動については皆さんの良識に俟つとしまして、二、三年の方々も、新入生の人達もどうか御協力下さい。他の誰の學校でもありません。私達自身の學校ではありませんか。

（三C浜田）

音楽部（器楽部）定期演奏会！

今春多くの卒業生を送り出してから練習にはげんでいる器楽部では今度OBの参加を得て六月十三日（土）午後一時より例年通り演奏會をひらくこととなった。昨年のそれよりも一層の進歩が期待されている。曲目は次の通り。

〇ベートーヴェン作曲交響曲第五番ハ短調作品五十五「運命」
〇ビゼー作曲「カルメン組曲」その他

史学部誕生

昨年十一月同好會で発足した歴史同好會が昨年度の活発な活動を認められ名誉ある蘆高の文化部の一つに加えられた。

同好會時代の三度の小発掘数度の有意義なる例會を基礎としてこの部の発展は大いに期待される。

春休中に阪大研究室村川氏の案内により北尼崎、伊丹の遺跡をさぐった。この日五十数個の土器破片を採用し多くの古墳、神社を見學したのは我が部にとって特筆すべきことであった。新入生にとって歴史などと云う學問はなじみにくくて面白くないと思はれるかも知れないが調べ出すとやめられない學問である。我々の身近かな郷土史を研究することが我が部の主な研究題目であるしかし郷土ばかりではなく奈良、京都方面にも足をのばす計劃も持っている。

入部希望者は第二職員室前嶋先生迄（石井）

校外トピックス

隣席にも御注意あれ

埼玉県某高校の某君、映画館に入りポケットから煙草を取り出したがマッチがない、そこで隣りの紳士に火を拝借したまでは良かったが、その紳士が新任教官であったとか翌日呼出され罰を喰ったが、その教官曰く「暗い中でマッチに照らし出された君の顔は全く印象的だったよ。」

新案カンニング用ペーパー

慶応高校の某君、素適なカンニング・ペーパーを発明して得意顔、早速次の日の試験に応用することにした、その使用法はいとも簡単で、オブラートにインクで書き込み、机にはっておき、使用後は口の中にほうり込んでムニャムニャ……。がしかし案の定これはバレてしまったという話諸君もなるべく使用しない方がいゝですな。

抽籤で授業料払戻し

新潟県九岡高校では授業料の滞納一掃をねらって、納入と同時に抽選券を渡し、後で抽選を行い、一等全額（一名）二等半額（二名）三等三割（三名）をそれぞれ払い戻すことに決め、更に期日迄納めないものは倍額を支払うこととなった。確かに名前をデカデカ張り出すより効果的でしような。

スポーツ

硬式野球部

▼島根県益田市制記念招待野球試合対益田高校（四月三日）

蘆屋　105012072｜18
益田　000000000｜0

	打	安	四	振	失
蘆	40	12	14	2	3
益	30	1	2	10	5

蘆＝櫻田―実濃村
益―石川、寺田―横田
三塁打―本屋敷、吉田
二塁打―実濃村、小島、湯本、櫻田

益田高は本校に対し攻守に数段以上の差を見せて破れた。本校は八回吉田の三塁打、四本の二塁打を含む長短六安打を放って大勢を決し、一安打三振十を奪った櫻田の好投とあいまって益田校に快勝した。

▼対松江高校（四月四日）

蘆屋　200100000｜3
松江　200000000｜2

	打	安	四	振	失
蘆	33	5	7	5	2
松	29	4	2	4	5

蘆―櫻田―実濃村
松―市場―上杉
三塁打―手島（松）

松江高の投手市場は、さして球威があるとは思われなかったが、本校打線の不調に救われて得点を小差に押えた。本校は残塁十が示す如く終始押していたが、決定打不足のため得点差を大きく開かせるに到らなかった。

▼近畿大會阪神予選　対市西宮高校（四月七日）

蘆屋　200020000｜4
西宮　10005010A｜7

	打	安	四	振	失
蘆	35	9	3	8	4
西	31	6	7	8	3

蘆―櫻田―実濃村
西―井上―池田

合宿の疲労、長途の旅のつかれ甚しく一回戦で市西宮に破れた。

▼洲本大會

一回戦　対兵庫工業高校（四月十一日）

蘆屋　00001040A｜5
兵工　000000000｜0

	打	安	四	振	失
蘆	26	3	7	4	2
兵	31	4	3	8	2

蘆＝櫻田―実濃村
兵＝南野―中利

前半は両軍投手の好投で互格に試合を進めたが、五回本校は四球とW・Pで均衡を破り、七回には、二・四球、二安打で四点をあげ、勝利を決した。

▼準決勝戦　対明石高校（四月十三日）

蘆屋　000200100｜3
明石　000000000｜0

	打	安	四	振	失
蘆	34	10	3	3	0
明	28	2	2	3	0

蘆＝櫻田―実濃村
明―網島―鈴木

明石は春の大會の覇者洲本高校を破り、その勢をかって本校に対したが、本校の打線大いにふるい、櫻田、又好投してこれを破った。本校は三回まで明石網島の軟投に押えられたが、四回二本の二塁打を含む、四安打を集中、先取点を奪い、七回にも湯本の二塁打で、安打の澤田を帰し、駄目押しの得点を加え、優勝戦へと駒を進めた。

▼優勝戦　対育英高校

蘆屋　00030000A｜3
育英　000000001｜1

	打	安	四	振	失
蘆	31	6	2	4	1
育	32	5	2	0	1

蘆＝櫻田―実濃村
育―石川―梶本
二塁打―今川

ダブル・ヘッダーで櫻田の調子が危ぶまれたが見事な投手ぶりで春の選抜出場の育英を完全に押えた。本校は四回育英石川に三安打を集中し失策もあって一挙に三点を得、勝利を不動のものとし最終回、一塁手の悪投で一点を与えたのみで昨年度に引き続き連続優勝をとげた。

バレーボール部　女子部

▼春期阪神地区新人戦

本校2（21 16 21／10 21 7）1市立西宮高

本校2（26 21／24 13）0伊丹高

▼優勝戦

本校1（19 18 21／21 21 6）2市立尼崎高

▼朝日招待女子綜合バレーボール大會（女子B級）

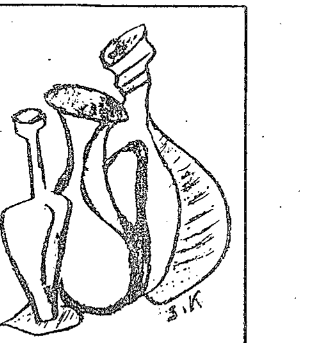
本校2（21 21／10 6）0泉陽OB

本校0（16 19／21 21）2光雰高

古書籍売買
葦の舟書房
代表者　久堀幸夫
蘆屋三八通り
電話蘆屋三一三一番

眼鏡専門
佐藤双眼鏡店
蘆屋本通り
電話蘆屋四四一二番

スポーツ用品各種
芦屋スポーツ
三八通り
電話三一四四番



日本の城と長寿に就いて

山田幸平

此の休暇に所用があって、松山迄旅行しました。久し振りに旅は面白く、車中に浮ぶ想念は、自由に解決されて、ふと十年前に読んだ三木清の旅に就いてのエッセイ（人生論ノート）などを思ひ出します。私は、元来山陽道は嫌いなのですが、其れは、召集されて始めて九州へ渡った時の絶望的な気持が此の道の絶景と密接に結びついて居るからでありましょうか。

貧弱な黒っぽい木に包まれた山々の峯や、石ころの多い水の少ない河に、いよ〳〵自分の心が乾くのを覚えたのですが、今、春の熱す山陽道の風景を再び見て、貧しい自然は、昔ながらに貧しいのですが、こちらの気持がまるで新入學生の諸君の様に浮き立っているからでありましょうか黄色い菜の花畠と青い麦畑の彼方に、姫路城の天主閣が陽を浴びて展望された時、辛い風波をしのいでやっと今に生きた此の城の姿と現在の私の気持とが実にぴったりと結びつきました。

そして姫路城はたゞ車窓から見ただけですが、やがて松山で汽車を降りて、松山城の天主閣にのぼった時、私はさらに城が好きになりました。城郭建築の美的様式に私は何にも知りませんが、しかし、丁度、満開の桜花のはなやかにうるんだ色彩の背後に、白壁と黒い屋根瓦の鮮やかさが眼にしみ、折り重る破風の格調ある構成に思わず快哉を叫びました。確かに純日本的な美しさです。丁度私が一諸に外人が二人、天主閣に上ってカメラをいじっていましたが彼等の服装や骨格、特に女の人の印度さらさの派手なスカートは、変に此の場とそぐわぬ印象を私に与えました。と言って、私は反省するのですが、私の貧しい体格や中途半端な背広服姿、また天主から見はるかす松山の市街、美しい山や海に囲まれているとは言いながら、戦災を受けて漸く立ち並んだ安普請の街々の姿もまた、この城と調和が取れている、とは決して申せません。

そして、これは誠に奇妙なことなのですが、松山の街も私もカメラをぶら下げた外人達も、現実に生きる存在であり、城は死物なのですが、生きている吾々が皆、此の死物に圧倒されてしまっているのです。汽車が多度津の港を横切る頃、驟雨に三本の桜花がおおいかぶさる様に咲き、風に散る花片墓石に散乱していました。恐怖は一瞬でしたがしかし、激しく前方を望んでいる現在の私をとらえて、過去がこの様に、厳然と美しくある様は、私にとても深い思索の場所に、連れ去ってくれる様です。

この城の城主は加藤嘉明ですが、城の完成に要した日月は、慶長から寛永に掛けて親子三代にわたる封建的忠誠の汗と血がこめられているのです。二つの山の峯を切り崩して、平板にし、そこに天主を築き谷間の水を百五十尺の石垣によって、頂上まで持って来て、いざといふ場合の運用の水に供したと言ふ築城術の卓抜さと、集団的努力の集積には、凝った石垣の苔を見て居ると、自然と驚異の感慨が湧き起ります。今、封建的と言ふ言葉によって、この城を造った人達をむち打った気持には私はなれません。確かに築城の目的や、築城に参加した人達の感情や道義は古くすでに全く死物と化しましたが、城の美しさは依然として私の眼前にあります。これほど素晴らしい独得な建築美を、果してわれ〳〵現代人はいや、もうこの先は言わなくても理解しております。後世の日本人は、われ〳〵とわれ〳〵の時代を指して、何物も創まず、あまつさえ拙劣な戦争によって、祖先の立派な伝統を守ることさえ出来得ない不毛の時代であったと記録するのが當然でせう。この汚名をわずかでもそそぐ為に、若い世代の深い反省と覚悟が必要です。

この旅行に私が偶然携行した本はトーマスマンの「トルストイとゲーテ」でした。入江や塩田や、山の中腹まで田畑で稲刈りした車窓の風景を眺めながら、長く生きたゲーテの次の様な言葉が私の眼に入りました。

「たとえば八十一才のゲーテはソレーに向ってこう言っている。「あのゼンメリングも死んでしまった。可愛想に七十五才になるやならずで。あれ以上持ちこたえる勇気がないとは、まあやくざな人間共だ。そこでわたしの友達のあの一番極端なベンサムは褒めておこう。あいつは仲々しっかりしている。とは言えあいつだってわたしより三週間しか年上ちやないのだ」と。

長寿には、自然が授ける一種の貴族性を秘めている、とトーマス・マンは主張しますスラヴ的野性、ギリシヤ的自然と両者の素地は違い、身に受けた教養の色合いも異りますが、しかしトルストイとゲーテには、天折したものが絶対に所有することが出来ぬ高貴な性格を晩年に獲得することが出来ましたが、しかも両者の長寿の中味は、激しい不断の自己形成への意志、民主主義化への努力が透視されることが容易です。車中、私がこの本を拾い読みしながら、強く心に感じたものは、今更ながらあの激しい戦火をくぐって今日に生きるわが身の奇遇と、その有難さと、そして天折した幾百萬の同胞に対する無言の哀しさです。

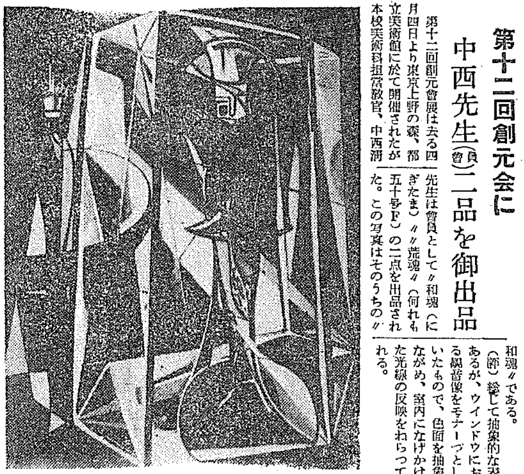
こゝでしっかり注意して置いて頂きたいのは、私の様に青春の門口で戦争に見舞われた者に取っては、敗戦直後は全く思想的不感症に落ち入り漸く、八年の距離を得た今、自分の思想的計量の尺度が身につき、人生の建築の構図が引き得る様になって始めて、自分の生命と体に対する愛着と、戦没者に対する深い同情が生れたのであって、実は此の二つの感情は同じ胎内から誕生したのです。

考えて見れば、日本文化の建築は、月足らずのものが多く、出来上ったものには、栄養不良のものが多いですが、これは、必ず作り手の側の、精神的エネルギーの欠乏に帰因します。自分の肉体と持ち味を大切にし、目標を遠くに置く、と言う事は月頭だが大切なことです。現在の悪環境の下では、この様な人生に対する態度は何か古風な、時代錯誤的なものに見られやすいのですが、これこそ現代の狂気の何よりの證拠です。幸にして此の様な心の態度にもし触れられる諸君があれば、私は、其の人達と共に手を取り合ってこの様に話しかけたいお互いに長生きをしましょう長く生きることが、創み、勝利を得ることになるのです。

第十二回創元会に
中西先生（会員）二品を御出品

第十二回創元會展は去る四月四日より東京上野の森、都立美術館に於て開催されたが本校美術科担當教官、中西湧先生は會員として〃和魂（にぎたま）〃〃荒魂〃（何れも五十号F）の二点を出品された。この写真はそのうちの〃和魂〃である。

（評）総じて抽象的な表現であるが、ウインドウにおさまる綱晉像をモチーフとして描いたもので、色面を抽象的にながめ、室内になげかけられた光線の反映をねらっておられる。



第十二回創元會展出品　和魂　中西湧

生理的思索

一坂俊丸

○

夢の世界に起る現象で現実界にも又見られるものは、ぼくに欠けている或る種の勇気だ。

此の或る種の勇気の欠如は常に夢見がちな日常生活の浪漫的一面に於て、ぼくを現実界に連れ戻す役目を果しているものだから、これは習慣化され、眠っている間にも、ぼくは屢々（生きている）自分を意識させられるのである。

○

有機体のもつ勇気には畢竟限界が設けられている。此の限界を無視した時、彼等は天の怒りに触れてその翼を焼かれたものであった。

有機体は自己の掛替のない翼を焼かれる恐怖心から、自ら自己の勇気に限界を設けるのかもしれぬ。

○

ぼく達はこうして毎日なにものかを待って其の日その日を過している。

此の場合、ぼくが敢て（なにものか）と言葉を濁したのは、ぼく達の待つべき対象が第一義的ではなかったからだ。対象は人に依って異なるし、また様々の条件が人に働きかけて、これを変えさす。尤もそれ故に対象を不遍的な事物でないとは断言できぬが。

例えば、ぼく達は昨日も来なかった「死」を今日に待ち越して、終日退屈に待ち暮したではないか。そして明日もまた蛇涎……。

ところで「死」を（待たない）と力む駄々っ児こそ愚かであろう。春の一日、彼は女と逢引をし、時計を睨んで焦燥する。女という意識的な媒体を通して、彼が死という無意識裡の不遍に目覚めていないというなら、逢引は滑稽な戯謔に終るではないか。

要は（待つ）ということで待つ事こそ第一義的な問題である。

○

僕は人生に於ける最も重要な事項の中に「邂逅」を加附しよう。僕の考えでは邂逅とは意識の外界に於て只管必死に待ち焦がれた末に、たとえば夕暮れの空に現われる一番星の如く、ぼく達がふと目ばたきを終えた時には既にぼく達の傍にちゃんと姿を現わしているといったものだ。

師も友も、書物も、女もぼくにとっては畢竟、邂逅以外の何物でもないのである。

○

「邂逅」は大事に、そっと大事に、真心をこめて温め、懐中深くに蔵して一心に育てねばならぬ。「邂逅」は萬人に等しく恵まれるであろうが邂逅を粗末にする者の手には容易に捉えられぬのだ。邂逅を粗雑に扱う人間は、生涯口を開けた儘、あてのない牡丹餅を待ち構えていることであろう。

○

或る種の人間は感傷に捉われると、自分の生涯を四つにも五つにも見ようとするものである。そうした意識の表皮で弄ばれた夢想は、積み重ねられ、繰返されるうちにいつしか彼の頭脳の核心に無意識のうちに、事実あったいくつかの経験といった形をとって、極めて容易にしかも完璧に移植されてしまうのだ。

するともう彼は自己の生涯を四つにも五つにも見ようとするのではなく、自己の生涯が真実その様に複雑多岐な運命であったと、偽わらずに信じてしまうのである。

これは滑稽なしかも切ない錯覚である。

○

為し得なかった事柄の中になすべき多くの問題が含まれていたかもしれぬ。そして一つの可能は僕達が追求しているうちにも、どんどん不可能の領域へと逃げ込んで行く。

そう、ぼく達は今日の不可能の中にどうして昨日の数多くの可能を発見できないといえようか。まことに今日という日は、昨日迄あれ程生き生きと呼吸していた可能の夥しい残骸の山だと云える。しかもぼく達はこの残骸に惑わされることなく、明日になれば又屍と化すかもしれぬ可能を手探り……。

○

人間の神経の中では死に対する恐怖感が最も精巧に発達しているといえよう。

人間を創り給うた神も、これには余程念を入れられたらしい。

萬一、神がこゝに手を抜いておられゝば、今日ぼく達は悽慘な戦争の恐怖に枕を脅かされずともよい。學者は分厚な「人口論」の前で居眠りをする必要はないのだ。…とすると、戦争も「人口論」も畢竟、神の創造ということになるのだが……。

○

誰も自殺候補者であることにかわりはない。

彼等の或る者は殆んど熱狂的に死を讃美し愛したが故にぼく達よりはやく逝けた。

またなかの或る者は、毒薬の入手が遅れたとか、相手から申込みを拒否された、たゞそれだけの簡単な理由に依って逝くことに遅れをとった。

ところが大多数の候補者は死に対して実に怠惰を極めた（それが彼等の生に対する誠実な證しであったかどうかはしらぬが）

彼等は死神が痺をきらして迎えに来る迄、遂に逝こうとはしなかった。

然も彼等もまた、疑いなき自殺候補者であった。

○

自殺者は全くの無智であった。

彼は現存在の彼方には、現在にも増して遙かに大きな苦悩が待機しているかもしれぬという事にも、或いは求めて得られなかった幸福が其処では手をさしのべて彼を迎えるかもしれぬという事にも。だからこそ死の間際まで彼は無論後記の場合を信じた様な顔をしながらも、腹の中では死後の世界というよりは寧ろ死そのものに到達したいと虫の良い考えを抱いた事だろう。故されゝば死の線上に、極めて微かな細い線上に突っ立ちたかったのだ。尤も彼がその線上に於ても矢張り無智である事に変りはない。そしてできる事なら、彼はその線上から前にも後にも踏み外さずに立っていたいと、虫の良い祈願をするに違いない。

映画批評

（映研）

「静かなる男」（リパブリック）

監督ジョン・フォードが彼の故郷、アイルランドにジョン・ウェイン以下フォード一家をひきつれてロケイションしたリパブリック社のテクニカラー大作でアイリッシュの気質を極めて良く表わし、フォード特有の詩情がほのぼのと我々の胸に迫って来る。アイルランドという土地は日本の地形と良く似ており、そこに繰り拡げられるウェインとマクラグレンの大格闘は美しい山野を背景として、緊張しいものになっていた。

全般的に見てフォードの悠々たる心境が流れていて、ウェインが馬車から降りて、あたりを眺めまわすシーン等、完全にフォードの故郷に対するなつかしさが表現されていた。フォードの演出の巧さは心憎いほどで、ウェインがオハラに背広を着せてやる所やその時のウェインの服装が米国から今着いたばかりだという感じを与えた事、又ウェインの擬従の着方が如何にも拳闘家らしい所等、確かに巧いと思った。テクニカラーで撮影されたアイルランドの平原や湖は正に絶景でオハラが羊を追っている場面や村の並木通の美しさは良かった。特にウェインに會う所で羊を追いながら後を振り返り振り返り向うへ去って行くオハラの様子やその時の彼女の赤いスカートが緑一色の中で眼にしみる様な鮮かさは印象に残った。モオリン・オハラは役柄を立派にこなしており、ウェインに引っぱられて行く時の彼女の表情は忘れ難いものがあった。脇役陣では適度のユーモアをふりまくフイッジェラルドやマクラグレンが良く音楽もベテラン・ビクター・ヤングが担當していて画面の色彩と良くマッチしていた。フォードのものとしても秀作であった。（松井）

「シンデレラ姫」

シャルル・ペロオの有名な童話の映画化で、美しい色彩に色どられた、ディズニイの長編作である、声優はシンデレラをアイリン・ウッズ、王子をウイリアム・フイリップ等、声のベテランがつとめている。童話の世界特有の正邪の対立、勧善懲悪のモラルをマンガに託しているもので童話の正統的な伝統を生かした映画である。人間の醜い諍いの争を動物の世界に移して表現するのはディズニイの得意とする所であり、小ネズミの活躍は目覚しい、ドレスを作る場面は彼特有の愛らしさと美しさを感じ、シンデレラの歌につれて七色のシャボン玉が画面に広がり、如何にも夢あふれた青春の美しさを象徴しているかの様である。（竹村）

「生きる為のもの」

この映画は皆さんが御覧になった通り、アル中の舞台女優ジェニイ（ジョンフォンテイン）を救ってやるが、妻子ある男（レイミランド）妻（テレサライト）でそれが恋に発展し共々に悩むという一種の恋愛映画である。

なにしろお話が不自然な程きれい事に描かれているので何か物足らぬ感じだ。

しかし女のアル中を扱った映画は少なかった為この様なすごいアル中を見せつけられて少し驚いた。製作及び監督は「陽の當る場所」のジョージスティブンスだが前作にはとても及ばない感じ。しかし神経の細かい描写で見せてくれるしとても美しい画調だ。アル中女優を演じたフォンテインの演技は相変らず素適だライトの若妻もよかった。三人の中で一番光っているのはやはりフォンテイン。

同じ妻子ある男の恋を扱ったものでも前作の〃旅愁〃の方がはるかによい。（曾我）

〔編集後記〕

◇新聞も本号で四十五号の発刊となり、一応新聞部としての伝統は築き上げられた。四十号を越える新聞を発刊している學校はそうザラにはない。

◇本号以後編集発行は主として二年一年が担當することになりましたが、今後共諸君の御協力を願ってやみません。

◇本号に於ても一年生の部員に活躍してもらったが、尚多くの部員を募集したいと思います、二年生の入部も希望しますが、特に女子部員が全然いませんので新聞に興味を持つ女子の入部を願います。

◇投書は東出口の〃投書箱〃か直接部員に渡して下さい。一年生からの記事を待ちます

◇尚五月七日の放課後、執行部室に於いて新聞に対する希望及び今号に関する批評の會を行いたいと思いますので出版委員は必ず出席して下さい